

氷見の土地改良



第49号
発行所
氷見市窪938
氷見市土地改良区
TEL.0766(91)0083

新春のご挨拶



氷見市土地改良区理事長

木下 俊男



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から、農業農村整備事業並びに土地改良区の事業運営等に暖かいご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、農繁期の四月から九月にかけて天候に恵まれ、七月の梅雨明け前後に二度のまとまった降雨があつた以外は雨が少なく、降

雨量も七月以外は平年の約半分でありました。

さらには、梅雨明けからの猛暑がお盆を過ぎて続き、九月の気温としては統計を取り始めた明治二十五年以降で最も高い厳しい残暑でした。

このため、五位ダムからの導水量は四百八十五万トン、使用率七十三・五%と、平成六年の五位ダムからの導水開始以来最高となりましたが、大きな混乱も無く収穫の秋を迎えることができましたのは、皆様方の早い段階からの節水協力によるもので、心から感謝を申し上げます。

工事関係では、一昨年五月に堤体の一部が崩壊して以来、島尾地区民が待ち望んでいた『島尾大池・小池、県営ため池等整備事業』が、厳しい財政状況にもかかわらず本年度に念願の新規採択となり、測量・設計業務及び堤体築造土砂の搬入工事が行われています。

また、継続事業の大浦地区・七分一地区の県営ほ場整備事業につきましても、大区画工事が順調に進められており、これも偏に、県・市を始めとする関係機関のご指導・ご支援と伴に、地区をまとめられています役員各位のご尽力

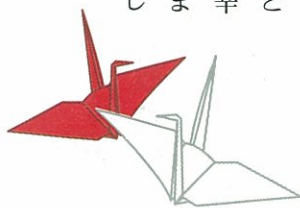
によるものであり心から敬意を表します。さて、皆様方もお聞きのことと存じますが、お盆の八月十三日に五位ダムから十二町地区及び布勢地区へ用水を送る、管径七百ミリの送水管が、鉾根地内の山中で破損し通水不能となりました。

考えられない大事故でありましたが、幸いにも出穂後の乾田準備期であつたため被害も少なく、安堵致しました。

事故後の復旧につきましては、農林水産省北陸農政局により破損事故の原因調査及び破損管の復旧工事が鋭意進められ、昨年末までに全て完了しました。

今後は、事故の再発を防ぐため、同種管路の事前調査や事故復旧体制の整備等について関係機関へ積極的に要望して参ります。

年末の慌ただしい衆議院総選挙により、政権の枠組みと共に農業政策も変わると思われますが、農業の基本は「安全な良質農産物の安定生産」であり、私ども土地改良区は、農業用施設の維持管理を通して、農業の振興と農村環境保全に取り組んで参りますので、組合員の皆様には、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。また、皆様方のご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。





氷見市長 堂故 茂

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新春の門出を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

昨年は、市制施行60周年を迎えるとともに、第8次氷見市総合計画をスタートさせた記念の年でありました。

また、「氷見漁港場外市場 ひみ番屋街」、「氷見温泉郷 総湯」がオープンし、氷見市に新たな魅力が加わりました。これも、市民の皆様はじめ関係各位のご理解とご協力によるものであり深く感謝を申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢につきましては、米価の下落や米生産

数量目標の削減、農業用施設の老朽化など非常に厳しいものがあります。

市といたしましては、皆様からお聞きした切実な思いを、国や県、関係機関に強く要望するとともに、今後も引き続き集落営農組織の育成や、地産地消、6次産業化、農商工連携等を推進し農業の振興を図ってまいります。

その他、防災・危機管理体制の強化を図るため、市全域をカバーしたデジタル防災行政無線を整備するほか、老朽化した市庁舎の移転整備を実施する予定であります。

更には、北陸新幹線の開業や、能越自動車道の延伸等を見据え、

氷見の優れた食文化を発信するため、積極的なPR活動や誘客イベントを展開するとともに、市民

団体による活発なまちづくり活動とも連携し、市全体が賑わう「300万人交流都市」を目指し、更なる交流人口の拡大を図るなど、総合計画で掲げました10項目の重点プロジェクトを着実に実行し、市民一人ひとりが将来に明るい希望を持てるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

新しい年も、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りし

まして、新年のご挨拶といたします。

平成二十五年元旦 氷見市土地改良区

理事長

木下 俊男

常務理事

小橋 賢治

瀬戸 三男

理事

坂本 昭男

北村 孝信

高木 治雄

原田 育弘

尾矢 公道

前田 秀昭

辻 善一

東 清夫

新屋 敦義成

山外 一郎

大石 勝巳

大橋 豊一

山崎 貴

上野 富士雄

開上 茂一

扇浦 一男

濱本 昌宏

木和田 勝

総括監事

野畑 圭造

総括監事

野畑 圭造

監事

飯山 喜作

田中 賢治

十二町潟 沿岸管理区

管理区長

崎山 修

副管理区長

高木 治雄

代表監事

柳 銃次

監事

西川 世司 廣

山田 弘文

他職員一同



高岡農林振興センター所長 長谷 則明

新年明けましておめでとうございませう。

組合員の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から当センターの農業農村整備事業や普及指導事業活動等の円滑な推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復興を通じて、公共事業を見る目が変化してきたと感じられた年でした。日本は、太古の昔から火山や地震、豪雨や洪水の多い島国であり、先人は災害から身を守るために一致団結してきました。そして、水や自然からの災害を乗り越え、その恵みを活かし共存するという知恵と工夫を積み重ね、豊で

多彩な食料を生み出してきました。今日、私たちが安心して暮ら

していくためには、国土を保全し、災害の時はこれを復旧して立ち上がって行くための支援が必要であり、そのための公共事業は欠かせないものとなっています。こうした認識が、国民全体に広まったものと感じています。

一方、国際社会は日本の事情に関わりなく変化の勢いを強めています。我が国はASEAN諸国他との二国間あるいは少数国間とEPA/FTAを締結しており、豪州、カナダ、中国といった農業大国やEUとのEPA締結協議が進行中で、さらに今後は米国を含むTPP交渉への参加についても例外的措置を含めて検討

を避ける事はできないものと思われませう。

このような情勢の中、農業農村整備事業に関して国は、平成24年3月に今後の5年間の新たな土地改良長期計画を策定し、「食料生産の体質強化」「震災からの復興と防災・減災力の強化」そして「農村コミュニティの再生」の3つを政策課題として取り組むこととしています。本県においても、担い手の育成と集約化を進める農地の大区画化、震災により重要視されている農業水利施設の

防災耐震化、地域ぐるみによる農業用施設や地域資源の保全管理活動などに重点を置き取り組んで行くこととしています。貴土地改良区管内における農

業農村整備事業については、概ね順調に進んでいるところであり、大浦、七分一地区の大区画ほ場整備事業は、面整備が終盤に差しかかり、島尾大池については、いよいよ本年度秋から一年半をかけて、改修工事に取りかかる予定とされています。また、新規に着手するものとして、防災ダムの洪水調節機能を維持するため寺尾・高戸ダムにおいて整備を行う予定とされています。さらに、農地・水保全管理活動については、地域農業の振興のみならず、農業農村の持つ多面的な機能の発揮に対し大きな貢献を果たしているところであり、引き続き地域の皆さんが一体となって活躍いただけるよう支援してまいります。組合員の皆様方のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

終わりに、本年が災害なく穏やかで実り豊かな一年でありますよう念願いたしますとともに、組合員の皆様方ますますのご健勝を祈念いたしまして年頭のごあいさつにかえさせていただきます。

第40回 通常総代会の開催

第40回通常総代会が、去る平成24年3月23日(金)午後1時30分から氷見市農業会館4階ホールにおいて、総代71名参加のもと開催されました。

会議に先立ち、木下俊男理事長の挨拶に引き続き、堂故茂氷見市長様、横山直一富山県高岡農林振興センター所長様の両氏からご祝辞を頂きました。

十二町地区の崎山修総代を議長に選出し、平成24年度事業計画、同一般会計収支予算及び特別会計収支予算等の11議案と報告第1号の中間監査報告については、何れも原案通り可決又は承認されました。主な内容は下記のとおりです。その後、小橋賢治理事長職務代理の閉会の挨拶の後、午後2時50分に閉会となりました。

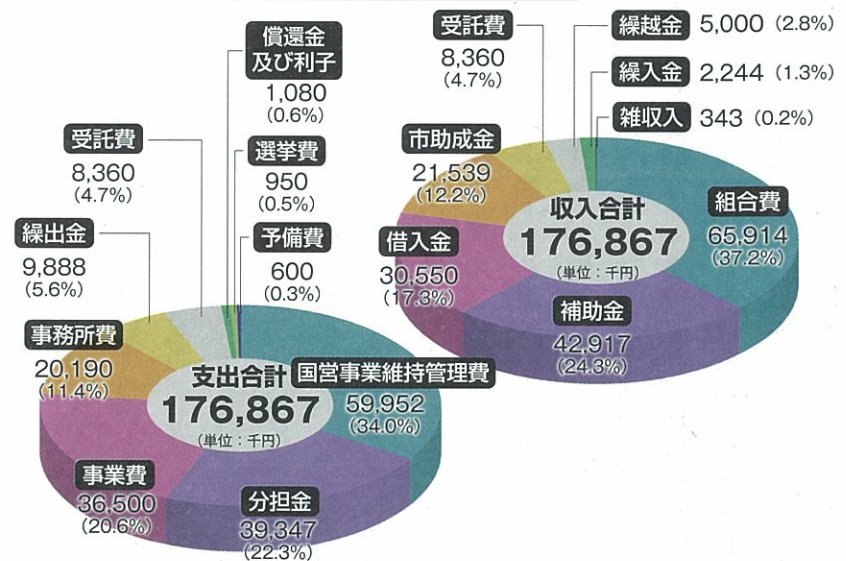


平成24年度 土地改良維持管理事業計画の概要

地区名	事業内容
土地改良施設維持管理適正化事業	
大浦	ため池補修 1.0式
鞍川	用水路改修 L=250.0m
吉岡	ため池補修 1.0式
県単独農業農村整備事業	
久目	安全柵整備 L=160.0m
十二町	用水路布設 L=140.0m
森寺	用水路改修 L=190.0m
農業用水水源地域保全対策事業	
市内一円	施設表示看板設置等 1.0式

平成24年度 一般会計収支予算 (単位: 千円)

本年度	前年度	比較増減
176,867	205,940	△ 29,073



平成24年度 特別会計収支予算 (単位: 千円)

本年度	前年度	比較増減
国・県営かんがい排水事業積立金特別会計		
146,021	162,333	△ 16,312
転用決済積立金特別会計		
3,950	12,000	△ 8,050
役員退任慰労積立金特別会計		
4,492	4,172	320
職員退職給与積立金特別会計		
37,737	56,307	△ 18,570
基本財産積立金特別会計		
150,240	136,253	13,987

本年度	前年度	比較増減
国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計		
280,870	277,851	3,019
国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費積立金特別会計		
40,472	35,942	4,530
十二町潟沿岸管理区特別会計		
43,943	45,565	△ 1,622
十二町潟沿岸管理区転用決済積立金特別会計		
24,086	23,424	662
十二町潟沿岸管理区維持管理積立金特別会計		
18,175	18,155	20

平成24年度 第1回臨時総代会の開催



平成24年11月28日(水)午後1時30分から、平成24年度第1回臨時総代会が水見市農業会館4階ホールにて開催されました。当日は、公務ご多忙の折にも拘らず、土合雅博富山県高岡農林振興センター次長様、江添良春水見市建設農林部長様、宮田義人富山県高岡農林振興センター指導課長様のご臨席を賜りました。

会議に先立ち、木下俊男理事長の挨拶の後、土合次長様、江添建設農林部長様からご祝辞を頂きました。出席総代66名の中から上庄地区の新井豊総代を議長に選出し、平成23年度事業報告及び同一般会計収支決算等の5議案については、何れも原案通り可決又は承認されました。主な内容は次のとおりです。その後小橋賢治理事長職務代理の閉会の挨拶があり午後3時に閉会となりました。

平成23年度 一般会計収支決算

収入総額 **219,843,729円**

支出総額 **208,590,487円**
(次年度繰越金 11,253,242円)

●収入

(単位：円)

款 項 目	決算額	予算額	比 較	
			増	減
1組合費	77,841,735	78,257,000		415,265
2受託費	7,576,000	7,576,000	—	—
3補助金	67,838,750	68,515,000		676,250
4市助成金	25,033,500	25,274,000		240,500
5雑収入	931,165	343,000	588,165	
6借入金	29,431,024	30,095,000		663,976
7繰入金	1,052,105	1,370,000		317,895
8繰越金	10,139,450	10,139,000	450	
収入合計	219,843,729	221,569,000		1,725,271

●支出

(単位：円)

款 項 目	決算額	予算額	比 較	
			増	減
1事務所費	13,083,597	21,215,000		8,131,403
2償還金及び利子	2,886,522	3,090,000		203,478
3事業費	68,164,925	71,600,000		3,435,075
4国営事業維持管理費	61,832,000	61,832,000	—	—
5受託費	7,576,000	7,576,000	—	—
6分担金及び負担金	40,190,443	40,799,000		608,557
7繰出金	14,857,000	14,857,000	—	—
8予備費	0	600,000		600,000
支出合計	208,590,487	221,569,000		12,978,513

平成23年度 特別会計収支決算

(単位：円)

国・県営かんがい排水事業積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
162,333,000	162,331,835	162,331,835	—

転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
18,000,000	19,680,233	13,044,332	6,635,901

役員退任慰労積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
4,172,000	4,192,559	—	4,192,559

職員退職給与積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
56,307,000	55,603,631	21,155,250	34,448,381

基本財産積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
136,253,000	141,517,772	—	141,517,772

国・県営かんがい排水事業維持管理積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
277,851,000	278,862,179	10,114,527	268,747,652

国・県営かんがい排水事業維持管理修繕費積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
35,942,000	37,800,480	2,570,350	35,230,130

十二町潟沿岸管理区特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
45,565,000	47,820,009	43,599,731	4,220,278

十二町潟沿岸管理区転用決済積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
23,424,000	23,486,104	—	23,486,104

十二町潟沿岸管理区維持管理積立金特別会計

予算額	収入総額	支出総額	繰越額
18,155,000	18,155,964	—	18,155,964

氷見市土地改良協会 平成二十四年度総会の開催

氷見市と市内4土地改良区及び15工区で組織する氷見市土地改良協会の平成24年度総会が、平成24年5月30日(水)午後2時30分から氷見市土地改良区2階会議室で、会員15名出席のもとに開催されました。

野畑会長の挨拶の後、来賓の江添氷見市建設農林部長様からご祝辞を頂きました。会長が議長を務め、提案された3議案については何れも承認又は可決されました。



●平成23年度 一般会計収支決算

(単位：円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
1,150,000	1,178,305	831,389	346,916

●特別会計

(単位：円)

予算額	収入決算額	支出決算額	繰越額
1,714,000	1,713,677	650,000	1,063,677

●平成24年度 一般会計収支予算

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
1,100	1,150	△ 50

●特別会計

(単位：千円)

本年度	前年度	比較増減
1,064	1,714	△ 650

十二町瀉沿岸管理区 通常総会の開催

平成24年3月7日(水)午後3時から、十二町瀉沿岸管理区第30回代議員会が開催されました。崎山修管理区長を議長に選出し、平成22年度事業報告及び同収支決算等の7議案については何れも可決又は承認されました。

中央幹線送水管の破断

平成24年8月13日(月)銚根地内の中央幹線用水路でFRPM管(強化プラスチック複合管)φ700mmの破損事故が発生しました。中央管理所にて流量異常を観測し、現地を調査したところ、FRPM管の破断を確認したため直ちに上流施設にて止水しました。幹線での漏水事故であったことから一部受益者の方々に節水をお願いする事態となり、大変ご迷惑をおかけいたしました。事故後、農林水産省により破損原因の調査と復旧工事が鋭意進められ、年末までに完了し、安定供給が可能となりました。



平成24年度の導水量

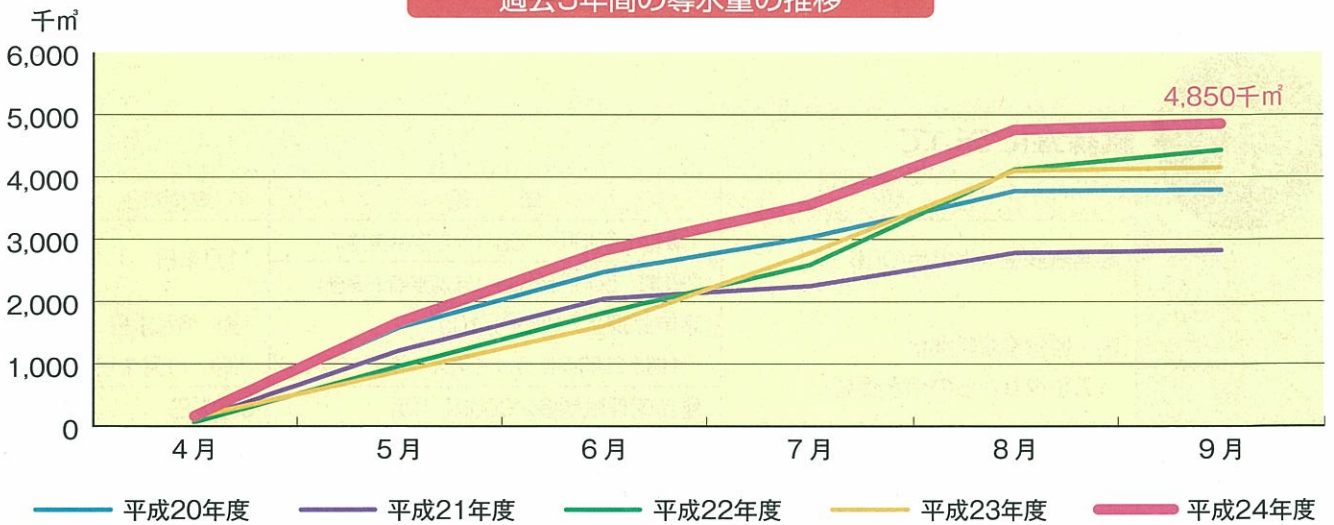
昨年のかんがい期は、7月以外平年降水量を大きく下回る、稀にみる少雨の年でありました。五位ダムからのかんがい用水導水量は、約485万 m^3 で前年度に比べ約73万 m^3 の増となり、過去最高の導水量となりました。

昨年は、38日間の平年並みの梅雨時期を経て、7月以降は連日の猛暑日に見舞われました。一昨年度に発生した地すべり復旧工事に伴う西朴木調整池受益の節水、8月に発生した中央幹線漏水事故の影響等、一部受益者の方々にはご迷惑をおかけすることとなりましたが、皆様方のご協力により大きな混乱もなく収穫を迎えることができましたことに感謝を申し上げます。

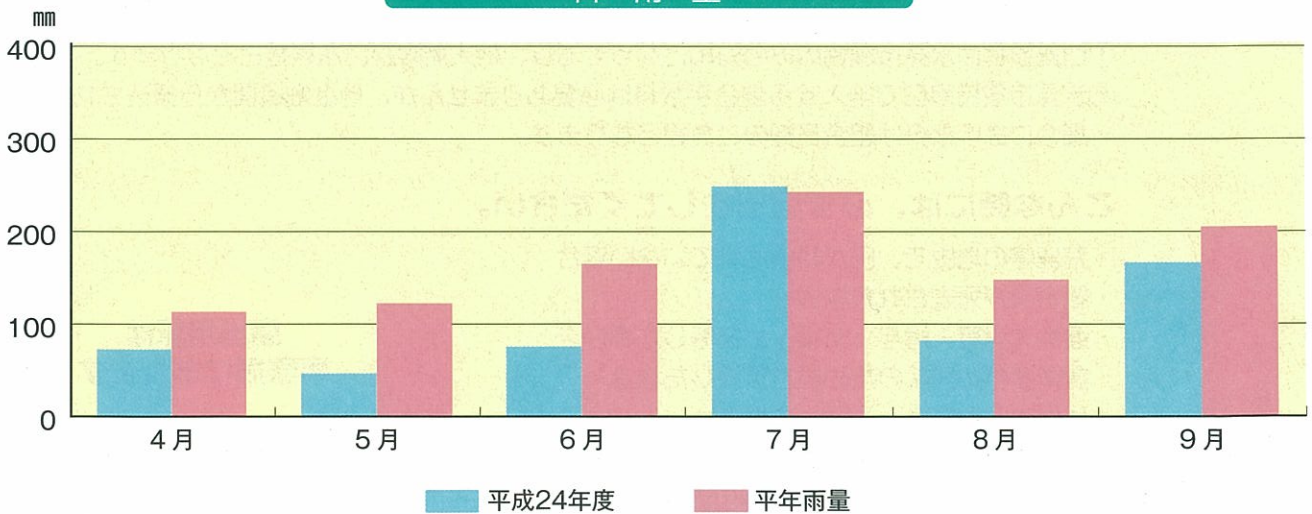
現在、来年度の安定配水に向け、施設の点検調整及び必要な修繕等を行っております。

皆様方には給水管や注水工・空気弁からの漏水及び溢水等を発見された時には、大変お手数ですが氷見市土地改良区(91-0083)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

過去5年間の導水量の推移



降雨量



農業用施設見学会の開催

平成24年11月20日(火)午前8時30分から、朝日丘小学校4年生児童49人を対象とした施設見学会を行いました。

初めに氷見市土地改良区に到着した児童達は、氷見市土地改良区職員から十二町瀉排水機場の役割等についての説明を受け、地下ポンプ等の設備を見学しました。自分たちの体の倍近く大きいポンプを見た児童からは、「家の近くにこんなに大きなポンプがあることは知らなかった。」「このポンプが無かったら家が水浸しになってしまう。」等の素直な感想が飛び交いました。その後、五位ダムに



移動し重原達範子撫川統合ダム管理事務所主任から五位ダムの役割についての説明を受けました。五位ダムにはじめてくる児童が多く、「近くの田んぼにこんなに遠いところからの水が来ているのは不思議。」「ダムの周りのたくさんの木が水をきれいにしてくれている。」とそれぞれ思うことがあった中、実りある学習会となりました。



組合員の
皆様へ

賦課金について

種類	単価	納期※3
経常賦課金（氷見市の田）※1	1級地1,000円/10a（ほ場整備実施済）	11月末日
	2級地 500円/10a（ほ場整備未実施）	
国・県営事業賦課金 （五位ダムからの用水受益）	事業賦課金7,800円/10a （1期と2期2回に分けて納入）※2	1期：6月末日 2期：11月末日
	維持管理賦課金2,000円/10a	6月末日
十二町瀉沿岸管理区維持管理賦課金 （十二町瀉排水機場の受益）	1級地3,200円/10a	1期：5月末日
	1級地 300円/10a	2期：8月末日

※1：水田が長年にわたり、荒廃等で耕作されない場合は、氷見市土地改良区まで連絡をお願い致します。
 ※2：国・県営事業の事業賦課金（7.8円/m³）は、平成29年度までですが、一括償還をすることができます。
 ※3：納期が休日の場合は、金融機関の翌営業日となります。

賦課金納付について

- ①口座振替は氷見市農協のみの対応となっており、納入期限が口座振替日となります。
- ②氷見市農協窓口で納入する場合手数料は必要ありませんが、他金融機関から振込される場合には手数料は組合員様のご負担となります。

こんな時には、必ず届出をしてください。

- ・荒廃等の理由で、田が耕作されていない場合
- ・組合員が死去された場合
- ・農地を売買・贈与・交換・相続等した場合
- ・農業者年金受給のため経営移譲した場合
- ・住所や組合員名を変更した場合

届出用紙は
事務局にあります

申請書類はホームページからもダウンロードできます。

水土里ネット氷見

検索